

平成 22 年度第 3 回秩父市地域公共交通会議 会議録

とき

平成 23 年 3 月 28 日（月）午後 1 時 30 分～

ところ

秩父市クラブハウス 21 第 2 集会室

出席者

委員 12 名（欠席 3 名）、事務局 7 名

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（会長：横井副市長）

3. 議事（議長：会長）

（1）吉田・大田乗合タクシーの運行について

事務局より資料により説明。

これに対し、議長は委員に意見を求めた。

委員：追加の場所は道路上での乗降となるのか。

事務局：路上ではなく「やおよし」「イチワタ」の駐車場となる。すでに両店より了承を得ている。

委員：吉田・大田乗合タクシーの乗降人数と今後の伸びの見込みは。

事務局：平成 21 年度 963 名、平成 23 年度 2 月末日の 11 か月で 941 名。前年同月比で 75 名の増。新し乗降場所が追加されても利用者の増加というよりは、利用者の利便性が良くなることを想定している。

委員：帰りの時刻は。

事務局：用意した資料のとおり、主に 3 便、4 便が帰りの便。行きの人数と帰りの人数は異なると考えている。

委員：ルートは。

事務局：日によって、その時によって変わる。例えば 1 便で小鹿野中央病院まで、2 便が皆野駅までなど。

委員：乗車人数について。

事務局：多い月だと H22. 10 月が 130 人。少ない月だと H22. 5 月で 63 人。月平均 86 人が利用している。

委員：利用状況を他の吉田地区の町会長にも話をしておく。結構使っているようで良いと思う。今後さらに改良してもらいたい。それ昨日の日曜日（3 月 27 日）新聞折り込みあった大滝地区等のデマンドタクシーについて、これはどういうものか。

委員：吉田・大田地区の乗合タクシーは市からの補助で運行しているが、大滝地区

等の買い物弱者対応デマンドタクシーは、宮側町と秩父丸通タクシーが連携して行う。市からの補助をもらわないこともあり運賃が少し高い。議会でも乗合タクシーの利便性を高める目的で、当日の予約受付の提案があるようだが、現状は事務処理上不可能である。

委員：皆野方面にはどのくらい利用者がいるか。

事務局：皆野駅、小鹿野中央病院は 700 円区間であるが、1 割が皆野駅、9 割が小鹿野中央病院となっている。

委員：要望が出ている吉田地区から皆野方面への路線バスについては。

事務局：秩父地域全体として今後考えていく。今年度は乗降調査を実施、来年度は秩父地域公共交通基本計画を策定する予定で、要望のとおりとなるかはわからないが、その中で議論したいと考えている。

議長は、委員からの意見が出尽くしたところで、吉田・大田地区乗合タクシーの小鹿野地区乗降場所追加について、本会議で「合意に至った」ことを了承するか委員に諮った。

⇒委員から反対意見もなく、協議が調ったことが承諾された。今後更新手続きを進め、スムーズな運行ができるよう準備することとした。

4. その他

委員：吉田・大田地区乗合タクシーの利用者の実態は。

委員：一人住まいのお年寄りの利用が多い

委員：秩父地域は高齢化率が高い。今後交通を考えると、例えば在宅福祉と公共交通といった連携を、縦割りではなく考えていくことが必要と思うが。

委員：他の事例として、在宅福祉の交通関係は、社会福祉協議会などが組織を立ち上げタクシー会社と連携して行っているようだ。

委員長：将来的には、このまま高齢化が進むと市街地でも買い物が困難になる人が増えてくるので、いろいろと考えていかなければならない。

以上で協議を終了し、会長は議長の座を降りた。

5. 閉会